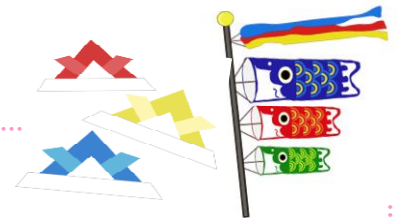


ぽすっと

2015年5月号 NO.221

5月1日発行



今月のトピックス

平成27年度 津島学び講座

「目で見る海部津島の自然災害」

日時：5月17日(日)

場所：図書館2階大集会室 *事前申込不要・無料

講師：園田俊介氏(津島市立図書館副館長)



明治以降、海部・津島地域は濃尾大地震、鷓多須切れ、大正の大水害、東南海地震、伊勢湾台風、36年6月豪雨など、大規模な自然災害に襲われました。

幾度となく起こる災害に対し、その苛酷な状況を撮影した写真、新聞、被害統計など、多くの資料が残っています。この資料と地域の特性から防災について考えていきましょう。

企画展示 「戦時下の津島～戦後70周年を迎えて～」

場所：津島市立図書館 1階展示コーナー

先月に引き続き、戦争展を開催中です。緊迫した戦時下での人々の暮らしを中心に、写真や資料を交えて当時の様子を展示しています。戦時中の津島の様子を是非ご覧ください。

10年・20年・30年前の新聞と郷土の新聞(各月更新中)

朝日・中日・読売・毎日の4紙から海部・津島地域の身近な記事を随時掲示しています。昭和50年(1975年)、昭和60年(1985年)、平成17年(2005年)の中から思い出の記事を探してみましょう。

旅行シーズン到来!



5月はGW旅行だけでなく、修学旅行も最も多いとされており、まさに旅行シーズンです。新社会人の方も初の連休にどこか遠くへ足を伸ばしてみませんか。今回は“それぞれの旅行”をテーマに集めてみました。

『愛知御朱印を求めて歩く札所めぐり』東海まち歩き再発見隊/著 メイツ出版

『愛しのローカルごはん旅』たかぎなおこ/著 メディアファクトリー

『47都道府県女ひとりで行ってみよう』益田ミリ/著 幻冬舎

『車中泊快適術』桃園書房

『来ちゃった』酒井順子/文 ほしよりこ/画 小学館



新 着 図 書

『新訳信長の言葉』

童門冬二 / 著 KADOKAWA 289.1ト



歴史上の人物から現代人の生き方について学ぶ本を数々執筆している童門氏。この本は信長の発言が歴史とどう重なるのか、信長の年齢とともに分かりやすく解説した内容となっています。

信長は厳格な人といったイメージがありますが、その言葉の真意は、常に家臣や領土の安泰を考えてのことではないでしょうか。有言実行だった点においても一言一言は重かったと思います。

豊臣秀吉、前田利家などの名将は、その発言を絶対的なものだと考えて行動したのでしょうか。また一方で、荒木村重、明智光秀のような反逆者を生むことのきっかけにもなっていました。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『介護現場で使えるコミュニケーション便利帖』尾渡順子 / 著 介護福祉士の経験を持つ著者が解説。
- 『洋子さんの本棚』小川洋子・平松洋子 / 著 2人の生い立ちに触れながら、数々の名著本を紹介。
- 『NHKためしてガッテン科学のワザで脳から若返る。』 テレビで見たあの技をばっちりおさらい。
- 『てのひら』谷津矢車 / 著 吉田松陰の妹の文。後の夫となる伊之助。2人の出会いは近くて遠い。
- 『キャプテンサンダーボルト』阿部和重・伊坂幸太郎 / 著 2人の大人気作家が夢の合作をついに実現。
- 『賢者の愛』山田詠美 / 著 複雑な人間関係から生まれる嫉妬と復讐の愛憎劇。タイトルの真意とは。
- 『50からの老いない部屋づくり』部屋を考える会 / 著 部屋作りの「流れ」に注目。より良い環境を。
- 『数字は武器になる』野口悠紀雄 / 著 普段目にする数字は何を意味しているのか。数字は力となる。
- 『逢魔が山』犬飼六岐 / 著 もののけが棲むという逢魔が山。そこへ迷い込んでしまった人の運命は。
- 『叛徒』下村敦史 / 著 通訳捜査官の七崎隆一。ある殺人事件の後、息子の部屋で異様な光景を見る。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。検索メニューが豊富になり、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。

<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/toshokan/>

休館日

26日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話(0567)25-2145

